

第 1 学年 道徳学習指導案

日 時 平成 16 年 9 月 9 日(木) 1 校時
児 童 1 年生男 7 名女 10 名計 17 名
指導者 稲 森 真 由 美

- 1 主題名 おとうさんありがとう 4 - (2) 家族愛
- 2 資料名 おとうさんのカレーライス (出典「みんなのどうとく」学研)

3 主題設定の理由

(1) 価値について

学習指導要領第 2 章道徳の第 1 学年及び第 2 学年の内容の 4 「主として集団や社会とのかかわりに関すること」の (2) は、「父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つ喜びを知る」である。これは、家族集団とのかかわりに関するものであり、家族や家庭を愛する心を持った児童を育てようとする内容項目である。これを受けて中学年では、「父母、祖父母を敬愛し、家族みんなと協力し合っって楽しい家庭をつくる」と発展し、高学年では、「父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをする」に発展していく。

家庭は社会生活を営む上での最小単位であり、児童にとっては道徳性を養う基盤であるといってもよい。家庭においてお互いの理解を深め、その一員として自分の立場や役割を考えようと努力することは、家庭の中の温かい人間関係を築く上で大切なことであり、家庭以外での様々な人々との関わりの基盤作りにもなる。

この時期の児童は、まだ自己中心性が強く残っている。そこで、児童にとってもっとも結びつきの強い家族について考えさせ、家族の自分に対する思いやりに気付かせることは、相手に対して敬愛の念を深めるとともに、まわりの人への思いやりの心を持つことにもつながっていくと考える。

(2) 児童の実態

学級の児童は、素直でおとなしく、家族にわがままを言って困らせるということもあまりない。児童の中には、日頃から家の仕事を役割分担して行っている者もあれば、そうでない者もいる。

これまでに児童は、道徳の時間などを通して身の回りの人々に自分が様々なことで助けてもらっていることに気付き、感謝の気持ちを表すことの大切さを感じてきた。生活科の学習「いろいろなことにチャレンジしよう」では、自分にできるお手伝いについて考え、家族と協力して仕事をすることの重要性も感じている。しかし、誰かのために行動しようとするまでには至っておらず、また、家族に世話をしてもらうことを当然のように感じている。

そこで、このような実態の児童に、家族は互いに助け合っって暮らしており、自分もその一員であることに気付かせたい。また、家族の自分に対する愛情を感じ取らせ、それに応えようとする気持ちを持てるようにしていきたい。そして、家族を敬愛し、その一員として進んで自分の役割を果たそうとする心情を育てたい。

(3) 資料について

本資料は、弟が生まれお母さんが入院しているので、お父さんがぼくのためにカ

レーライスを作ってくれるというお話である。お父さんが作ったカレーライスを、ぼくは味が少し変だと思いながらも、お父さんに対する感謝の念から「おいしいよ。」と答える。そして、一緒に母親のお見舞いに病院へ向かうという内容である。

児童にとって、日頃母親が行っていることを父親が代行するという事は、それほど珍しいことではないと思われる。また、最後の文の行間からは、お手伝いの意欲へとつながるものが読み取れる。お手伝いについては、実際に日常で実践しているものであり、夏休みや生活科の学習でも取り組んできたことなので、自分の体験と関わらせて読むことができる資料になっている。また、料理やお手伝いという身近な事象を取り上げ、主人公「ぼく」の行動や心情を自分の思いと重ねやすい内容となっており、家族のために役立つことをしようとする気持ちの大切さを考えるのに適した資料である。

(4) 指導にあたって

前半は、涙を流しながらカレーライスを作ってくれたお父さんに感謝するぼくの気持ちを共感的に扱いながら、家族のことを考えるぼくの気持ちについて考えさせたい。

後半は、入院している母親に何と言って伝えようか、母親の喜ぶ反応を期待しているぼく的心情を予想しながら吹き出しに書き、家族を大切にすることをさらに深く考えさせたい。また、役割演技を取り入れて疑似体験をさせたり、おうちの人からのメッセージを読むことで、家族の一員として役に立つ喜びを実感させるとともに、これからも進んで役に立つことをしようとする意欲を高めたい。

4 本時の指導

(1) ねらい

家族を大切に、進んで家族のために役立つようとする心情を育てる。

(2) 評価

自分が家族の役に立つことを喜び、自分でできることは進んで行おうとする意欲を持つことができたか。

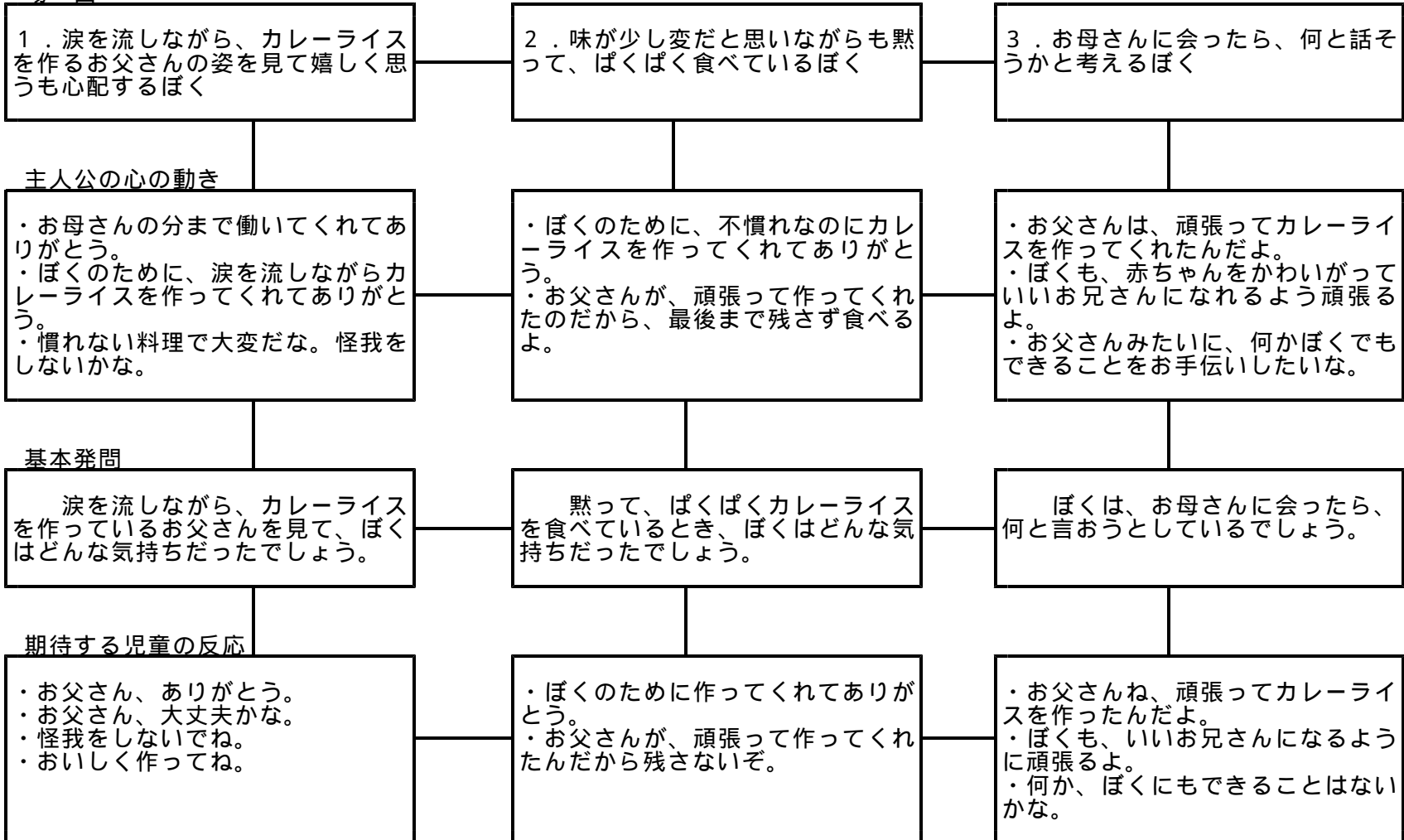
(3) 展開

段階 時間	学 習 活 動	・ 支援（指導上の留意点） ○ 評価 人権教育の観点から強調したり、留意したりする点	備考
導入 5分	1 家族からお世話してもらった体験を振り返る。 ○ 家族にしてもらって嬉しかったのは、どんなことですか。	・ 家族にお世話してもらったことを発表させることによって、家族との関わりを意識させ、資料への導入を図る。 ○ 家族との関わりについて考えようとしているか。 自分の思ったことを、最後までしっかりと話せるように励ます。	
	2 資料「おとうさんのカレーライス」を読んで、ぼくの気持ちを考える。 ○ 感想を発表しましょう。	・ 範読する。 ・ 児童の感想をもとに、ねらいとする価値への方向付けを図る 範読を聞き、感想を持つことができたか。	

<p>展</p>	<p>○涙を流しながらカレーライスを作っているお父さんを見て、ぼくはどんなことを思ったでしょう。</p> <p>○黙って、ぱくぱくカレーライスを食べているとき、ぼくはどんなことを思ったでしょう。</p> <p>○ぼくはお母さんに会ったら、どんなことを話したいと思っているでしょう。</p> <p>友達の発表を聞いて、いい考えだなと思ったことはありませんか。</p> <p>3 自分のしたことで、家族から喜ばれた経験を発表する。 自分がしたことで、家族から喜ばれたのは、どんなときでしたか。そのとき、どんな気持ちでしたか。</p>	<p>・お母さんの代わりに料理をしている、お父さんの姿を見て、嬉しく思うぼくの気持ちを考えさせる。 ぼくの嬉しい気持ちを、感じ取っているか。 友達の発表と比べながら自分の考えを言えたときは、大いに賞賛する。</p> <p>・不慣れな料理を一生懸命に作ってくれた、お父さんに対するぼくの感謝の気持ちに共感させる。 友達の発表を、自分の考えと比べながら聞くようにさせる。</p> <p>・家族を大切に思うぼくの気持ちを感じ取り、お母さんに会ったら何と話そうとしているか吹き出しに書かせたい。 ・母親役を教師が行い、吹き出しに書いたことを発表し、役割演技をさせる。家族のために何かしたいという気持ちまで考えられたら大いに賞賛し、今後の意欲付けへとつなげたい。 ぼくの気持ちを吹き出しに書くことができたか。</p> <p>・友達のよさに気付かせていく。 話す人に体を向けて、しっかり話を聞けるようにする。</p> <p>・自分が家族の役に立っていることに気付かせ、家族に喜んでもらえると嬉しい気持ちになることをとらえさせたい。</p>	<p>絵</p> <p>絵</p> <p>絵 学習プリント</p>
<p>開</p> <p>30分</p> <p>終末</p> <p>10分</p>	<p>3 それぞれのおうちの人からのお手紙を読んで感想を発表する。 ○お手紙を読んでどんなことを思いましたか。</p>	<p>・保護者からのビデオメッセージを見た後、家族からのお手紙を読んで これからも自分の役割を自覚し、進んでお手伝いをしようという意欲を高めたい。 お手紙を読み、進んでお手伝いをしようとする意欲を持てたか。</p>	<p>ビデオ お手紙</p>

資料分析

- 1 主題名 おとうさんありがとう
2 資料名 おとうさんのカレーライス
3 ねらい 家族を大切に、進んで家族のために役に立とうとする心情を育てる
4 場面



座席表

<p>A</p> <p>少し甘えん坊で、兄に頼って行動しがちである。自分の生活を振り返り、家族のことが考えられるように支援する。</p>	<p>B ○</p> <p>積極的に家の仕事を見つけて取り組んでいる。お手伝いをして、家族の役に立ったと思ったときのうれしい気持ちについて発表させたい。</p>	<p>G</p> <p>家の人にやるように言われているが、忘れがちである。ぼくの気持ちに共感させながら、家族に役立つことをしていこうとする気持ちを持たせられるようにしたい。</p>	<p>H ○</p> <p>家の仕事や弟の世話をよくしている。進んでお手伝いをしていくときの気持ちよさを発表させ、みんなに知らせたい。</p>	<p>I ○</p> <p>よいと思ったことを進んでやれる。ぼくの心情で読み取ったことを積極的に発表させ、みんなに気付かせるようにさせたい。</p>	<p>M</p> <p>あまり、お手伝いはやっていない。ぼくの気持ちに共感させながら、自分からお手伝いをしていこうとする気持ちを持たせていきたい。</p>
<p>C ○</p> <p>家の人と約束したことを忘れずにやろうとしている。ぼくの心情で読み取ったことを積極的に発表させたい。</p>	<p>D ○</p> <p>内気で少しおどおどしたところがあり、自分の考えをなかなかもてない。ぼくの気持ちを吹き出しに書けるよう支援する。</p>	<p>J ○</p> <p>小さいときから家のお手伝いを続けている。自分の考えをまとめる力があるので、吹き出しにじっくりと書かせ発表させたい。</p>	<p>K</p> <p>登場人物の心情をつかむのはむずかしいと思われるので、友達の発表をよく聞いて考えを深められるよう支援していく。</p>	<p>L ○</p> <p>姉の後をついて行動する。内気で、自分の考えをはっきり言えないことが多い。吹き出しに書いたものを発表させ自信をもてるようにさせたい。</p>	<p>O</p> <p>兄に声をかけられて一緒にお手伝いをしている。日常生活を振り返らせ、自分でできることを進んでしようとする意欲を持たせていきたい。</p>
<p>E</p> <p>お手伝いを喜んでやるが、飽きっぽいところがある。話し合いを十分聞きながら、感謝について考えを深めさせていきたい。</p>	<p>F</p> <p>粗筋をつかむのがむずかしいと思われるので、登場人物やその行動がはっきりわかるよう支援していく。</p>	<p>○ 家の仕事を進んでやっている</p> <p>家の仕事をあまりやっていない</p>		<p>N</p> <p>家の人に厳しく言われて姉妹と役割分担して仕事をしている。役割演技の中で大いにほめ、達成感を味わわせていきたい。</p>	<p>Q ○</p> <p>活発に行動し、家の手伝いも進んでやれている。学習中の発表は控えめなので、発表を促すようにしていく。</p>
<p>教 卓</p>					

おとうさんのカレーライス

- ・ かんびょう
- ・ ごちそう
- ・ けがのてあて

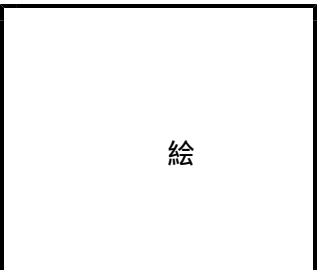
- ・ おとうさんは、ぼくのために カレーライスをつくってくれて やさしい
- ・ ぼくは、おいしいといってあげて やさしい



- ・ ぼくのために ありがとう
- ・ おとうさん だいじょうぶかな
- ・ たいへんそう けがしないでね
- ・ おいしく つくってね



- ・ ぼくのためにつくってくれて ありがとう
- ・ おとうさんが がんばってつくってくれたんだから のこさないで たべるぞ
- ・ あじはへんだけど おとうさんに わるいから だまっていよう



- ・ おとうさんね、がんばってカレーライスをつくってくれたんだよ
- ・ ぼくも いいおにいさんになるように がんばるよ
- ・ ぼくも、なにか おてつだいをするよ